

# 第1章 基本的事項

## 1. 背景と目的

滋賀県の南東部に位置する草津市は、古くから、東海道と中山道が分岐・合流する宿場町として栄え、現在もJR琵琶湖線、JR草津線、名神高速道路、新名神高速道路、京滋バイパス、国道1号が通る交通の要衝で、京都・大阪などのベッドタウンとして発展し、全国的に人口減少局面を迎える中で、現在も人口が増加しています。また、立命館大学BKCや大手企業の工場が立地するなど、通学や雇用の場としての機能も備え、滋賀県の中核的な都市となっています。

一方で、自家用車への過度な依存による公共交通の脆弱化や慢性的な交通渋滞の発生、人口増加を背景とした郊外開発等による都市機能の分散化など中心部の衰退等の問題が顕著化しており、今後の人口減少社会や、少子高齢化社会に対応した交通環境の整備が急務となっています。

それらの課題を解決するために、2010年（平成22年）3月に策定した「草津市地域公共交通総合連携計画」や2014年（平成26年）3月に策定した「草津市都市交通マスタープラン」、「草津市総合交通戦略」により、草津市総合計画で示すまちの将来像の実現に向けて、総合的かつ戦略的な都市交通施策を実施してきました。

こうした中、2014年（平成26年）11月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」（以下、「活性化再生法の一部を改正する法律」）が施行し、同法に基づき作成する計画が改正され、まちづくり等との連携や面的な公共交通ネットワークの再構築が求められることとなりました。

本市においても、将来的な人口減少を見据えた持続可能なまちづくりの実現を目指すため、自家用車利用を前提とした拡散型の都市構造から、公共交通等の移動手段を使って歩いて暮らせるコンパクトな都市構造への転換を図るため、まちづくりや観光振興等地域戦略との一体性、市民（地域）・交通事業者・行政の連携や協働を重視した「草津市地域公共交通網形成計画」（以下、「本計画」）の策定を行います。

## 2. 計画の区域

本計画の計画区域は、草津市全域とします。

また、周辺自治体との広域的な連携を鑑み、大津市、栗東市、守山市との連携も図ります。

## 3. 計画の期間

公共交通を取り巻く環境の変化に対応するため、本計画の計画期間は、2018年（平成30年）度から2027年度までの10年間とします。

## 4. 計画の位置づけ

---

本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（2007年（平成19年）10月1日施行、以下「活性化再生法」とする。）、活性化再生法の一部を改正する法律（2014年（平成26年）11月20日施行）に基づき策定するもので、「第5次草津市総合計画」（2010年（平成22年））に掲げる将来のまちの姿を交通面から実現することを目指すものです。

また、上位計画である「草津市都市交通マスタープラン」（2014年（平成26年）4月）の考え方を踏襲し、「草津市地域公共交通総合連携計画」の見直し版として、まちづくりと連携した持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化および再生を推進するための計画です。

また、策定にあたっては、草津市地域公共交通活性化再生協議会で協議の上、関係主体と連携し、地域公共交通の方向性を定めた既存計画等との整合を図ります。

## 5. 計画策定の基本的な考え方

---

人口減少や少子高齢化が進行する将来においても持続可能なまちであり続けるために、本市では、総合計画をはじめとする各計画との連携を図るとともに、「草津市立地適正化計画」「草津市版地域再生計画」を策定し、本計画と一体的に進めることで、生活サービス機能や居住を集約・誘導し、公共交通ネットワークで結ぶコンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現を目指しています。

「第5次草津市総合計画」で示す「歩いて暮らせるまちづくり」を進めるためには、住居、商業、交流、文化、スポーツ等のさまざまな暮らしに必要な施設を中心部に誘導するとともに、市街化調整区域の集落で生活圏を形成し、中心部と生活圏を公共交通ネットワークで結び、各種サービス機関への回遊性を高めることで、より安心して、歩いて暮らせる居住環境の確保が必要です。

そのため、市民・事業者・行政の協働で、「市民の意識改革」、「事業者の経営努力」、「効率的な行政運営」を図り、市民や来訪者など誰もが安全で安心して生活できるまちの形成を目指し、効率的かつ効果的な利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指します。

また、草津市健幸都市基本計画と連携し、「出かけたくなるまちづくり」を実現し、「まちの健幸づくり」「ひとの健幸づくり」に貢献するとともに、地域住民が支えあい、多様な主体が協働し、安心して暮らすことができる「地域共生社会」を目指します。

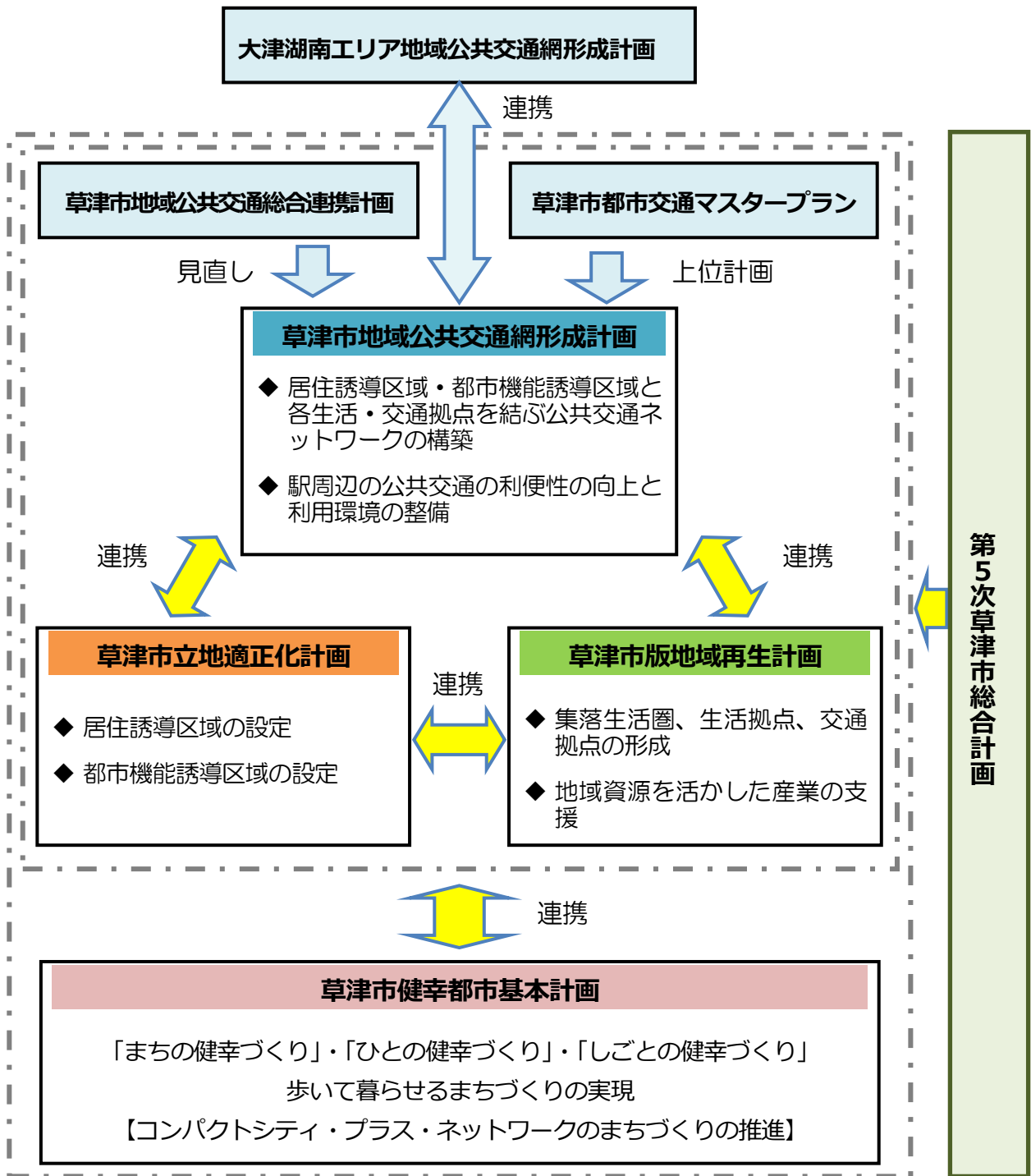


図 1-1 各計画の連携イメージ